

みんなで実践!

# コロナ禍における広域避難 広域避難所・広域避難場所への 避難のポイント



広域避難所 (坂東総合高等学校) の様子

## 1. まずは、各自で避難先を確保

- コロナ禍では3密を避けるため、避難所の収容人数は従来の4割減となっています。
- まずは、親戚・友人宅や宿泊施設、勤務先等の避難先を各自で確保しましょう。



ブルーテント (イメージ)

感染症対策により収容人数は **4** 割減

## [避難所での町のコロナ対策]

### 避難所の設備・体制の整備

マスク、消毒液などの衛生器材の他、AIサーモセンサー、隔離用テント・パーテーションを準備しています。

### 新たな広域避難所・緊急避難場所の確保の推進

町では、新たな広域避難所や広域避難場所として、公園などの駐車場を確保するため、坂東市、八千代町などと調整中です。

## 2. 各自で避難先を確保できない場合は、感染症対策や準備をしたうえで、町で準備した広域避難所や広域避難場所へ

- 避難所の施設内は配慮が必要な方、車のない方を優先します。
- 一般の避難者で車のある方は、避難所の駐車場や避難場所で車中にて一時的に避難しましょう。
- 避難所に避難する際は、事前に検温し、体調不良の方は受付前のチェックゾーンで申告しましょう。
- また、必ず感染症対策グッズを持参し、新しい生活様式での避難所生活を実践しましょう。

## [新しい生活様式での避難生活]

水害も新型コロナウイルス感染症も各自での対策や準備があなたやあなたの家族、大切な人の命を守ることにつながります。自分は大丈夫と考えず、まずは各自で対策、準備を実践しましょう。



境町新しい生活様式実践例より

### みんなで守りましょう

- こまめにアルコール消毒
- マスクの着用・咳エチケット
- 汚れた手で無意識に目・鼻・口をさわらない
- 食器や洗面用具、タオルを共用しない



### 非常持出袋に感染症対策グッズをプラス

- マスク
- アルコールの消毒液やウェットティッシュ
- 体温計
- ハンドソープ (一人にひとつ)
- スリッパ・うわばき (床からの接触感染防止)
- ビニール手袋



茨城県  
境町  
TOWN OF SAKAI

令和元年東日本台風  
広い範囲への大雨で利根川が  
いつあふれてもおかしくない状況に!

増水時  
(台風19号時)

平時



河川敷が全て浸水し、  
堤防上の国道354号に水が迫る

境大橋付近の利根川の様子

令和元年東日本台風(台風19号)

令和2年度 保存版  
逃げどきマップと一緒に保存してください。

# 住民アンケート結果 (概要) を反映

令和元年東日本台風(台風19号)住民アンケートの結果と  
コロナ禍の感染症対策を踏まえた

## これからの 境町広域避難

平時



浸水後  
(イメージ)



もし、  
利根川が  
氾濫していたら...

最大  
想定浸水深  
7.15m

町役場を含む利根川沿いの地域が  
広い範囲で深い浸水!

町役場付近の様子  
(提供: 利根川上流河川事務所)

# 東日本の広範囲に大雨と被害をもたらした 令和元年東日本台風（台風19号）

令和元年10月12日、短期間で急激に勢力を強めた台風19号が日本に上陸し、多くの地点で観測史上1位の値を更新するなど記録的な大雨となりました。この大雨の影響で、広い範囲で河川の氾濫が相次ぎ、土砂災害や浸水害が発生しました。一連の災害の影響で、犠牲者は104人※にのぼりました。

※「令和元年台風第19号等に係る被害状況等について」令和2年4月10日（内閣府）より

## 利根川氾濫の危機

カスリーン台風以来  
72年ぶり



阿武隈川の氾濫のようす（丸森町）  
撮影：令和元年10月13日国土地理院

### 12日 夕方 利根川流域も広く大雨となる

利根川流域では広い範囲で大雨が降り、1時間の雨量が60mmに迫る地域もありました。

### 急激な速さで 水位が上昇

上流に降った大量の雨が集まった結果、利根川の水位は急激に上がり、的確な予測が難しい状況でした。

12日  
23:00

最高水位 八斗島 4.07m（参考）氾濫危険水位 4.8m

八斗島水位観測所は水位のピークを迎え、氾濫危険水位に迫る4.07mとなりました。

### 氾濫危険水位を超え、いつ利根川 があふれてもおかしくない状況に

最高水位 栗橋 9.61m（参考）氾濫危険水位 8.9m

栗橋水位観測所では、氾濫危険水位を超える9.61mに達し、計画高（堤防が水圧に耐える高さ）まであと0.3mに迫っていました。いつ利根川があふれてもおかしくない、大変危険な水位でした。



栗橋水位観測所付近（10月13日6時頃）



平時

河川敷が全て浸水し、堤防上の国道354号に水が迫る

増水時  
（台風19号時）

境大橋付近の  
利根川の様子

利根川流域では3日間の八斗島上流域平均雨量が310mmと、カスリーン台風（308.6mm）以上の降雨となりました。

「令和元年台風第19号による出水速報」令和元年10月17日（利根川上流河川事務所）より

## コロナ禍での広域避難に向けて

令和元年 東日本台風（台風19号）の経験を活かすために

境町では、昨年度の「令和元年 東日本台風（台風19号）」において、全国初となる「広域避難」を実施いたしました。広域避難では、片田東京大学特任教授のアドバイスもあり、住民の皆様へ、避難指示を発令するとともに、国土交通省をはじめ、関係機関と連携し実施をいたしました。今回、幸いにも、利根川は決壊をしなかったわけですが、全町民への広域避難時の行動等について、アンケートを実施するとともに、広域避難の課題など今後活かすため調査結果を作成させていただきました。

今回のアンケート結果の回答率は約75%と、町民の皆様の高い関心が伺えます。そして、避難率は、避難指示発令対象地域では、約66%であり、町全体では約44%でした。また、避難者全体の約83%が広域避難を実施していただき、そのうち約53%の皆さんが、指定避難所ではなく、町外の親戚・知人宅など自主的な広域避難を実践されるなど、「自らの命は自ら守る」意識が、浸透しつつあるものと感じています。あらためて住民の皆様には感謝を申し上げます。

しかし、避難された方は、全体の約44%であり、犠牲者ゼロを目指す当町としては、まだまだ、避難率をあげていかなければいけないと、痛感しているところです。

現在はコロナ禍にあり、災害発生時は、広域避難プラス、コロナ対応との複合災害となります。ここで重要なのは、「命を守ること」です。感染させてしまったらどうしよう、避難所にはいけないではなく、浸水地域を知っていただき、自らの避難先は決めておいていただき、迅速に避難する。このことを徹底していただきたいと思っております。

我々自治体は、感染拡大を防止すること、感染者が発生した場合の、分離などを研究しております。ただ、三密を避ける避難所運営では、今までの避難数より、4割減になってしまうというシミュレーション結果も出ており、地域によっては、二階以上に避難する垂直避難などもエリアを指定する必要があると考えております。

現在、町では、新型コロナウイルス感染防止対策として、避難所に、AIサーモセンサー（体温測定器）や、屋内用テントなどを導入し、坂東総合高校、総和工業高校等の広域避難所に設置を進めております。今回のアンケートからも、渋滞の発生や、避難所がいっぱいのため、他にいかなければならなかったなどの回答をいただいております。町外の学校、公園、駐車場なども、新たな広域避難先として、確保に向け調整をしております。

このような状況において、もし広域避難を要する場合は、町として感染リスクよりも「命を守る行動」を優先し、躊躇なく避難勧告等を発令致します。町民の皆様におかれましても、複合災害時における広域避難に備え、本広報誌を有効に活用していただければ幸いです。

最後に、本広報誌の完成にあたり、町の防災アドバイザーである東京大学大学院情報学環 特任教授 片田敏孝先生に監修を頂きました。この場をお借りし感謝申し上げます。



令和2年9月  
境町長 橋本正裕

## コロナ禍での広域避難のポイント（案）

東京大学大学院情報学環  
特任教授 片田敏孝

### ポイント1 まずはあなたの対応・行動が命を守る唯一の手段

“マスクをする”、“手を洗う”、“3密に行かない”という“あなたの対応・行動”が、感染症からあなたや家族、大切な人を守る唯一の手段です。これは水害時でも同じです。まずは、各自でしっかり情報に注意し、自分の命を守るために広域避難を決断・判断するという“あなたの対応・行動”が、水害からあなたや家族、大切な人の命を守る唯一の手段です。

### ポイント2 避難所に行くことだけが避難ではありません

災害時、避難所に行くことだけが避難ではありません。浸水のおそれの低い地域の親戚・知人宅や宿泊施設、勤務先などへの避難、車中避難が最優先すべき避難先の選択肢です。長田地区や猿島地区の一部には、浸水が想定されていないエリアがあります。安全が確保されている場合は自宅に留まることも選択肢の一つです。このような避難所以外への避難は、あなたの新型コロナウイルスの感染リスクを減らすだけでなく、避難所を利用する他の方の感染症対策にもつながります。

### ポイント3 少しでも不安や心配を感じたら、ためらわず早めに避難

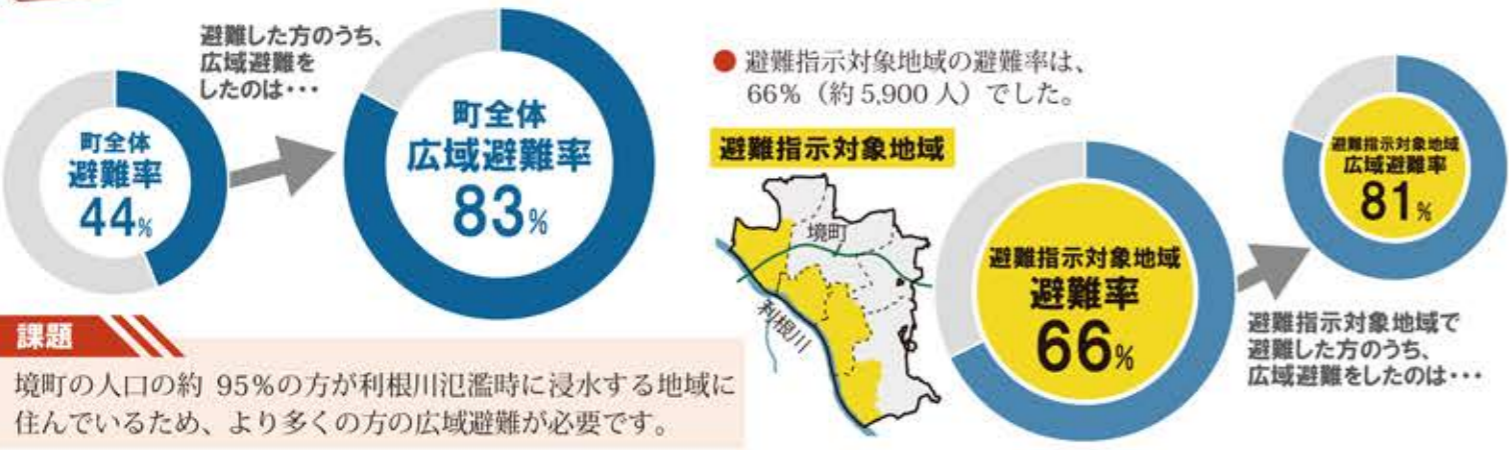
避難先として隣の親戚宅を事前に確保していたとしても、避難開始が遅くなった場合、すでに道路が浸水し長距離の避難が困難となったり、多くの人が避難し渋滞に巻き込まれたりしてしまうことも考えられます。

いつ避難情報が発令されるかを待って、心配しながら過ごすよりも、少しでも不安や心配を感じたら、ためらわず安全な避難先に早めに避難し、安心して身も心も休めましょう。このような早めの避難が、より安全で精神的にも負担が少ない避難です。



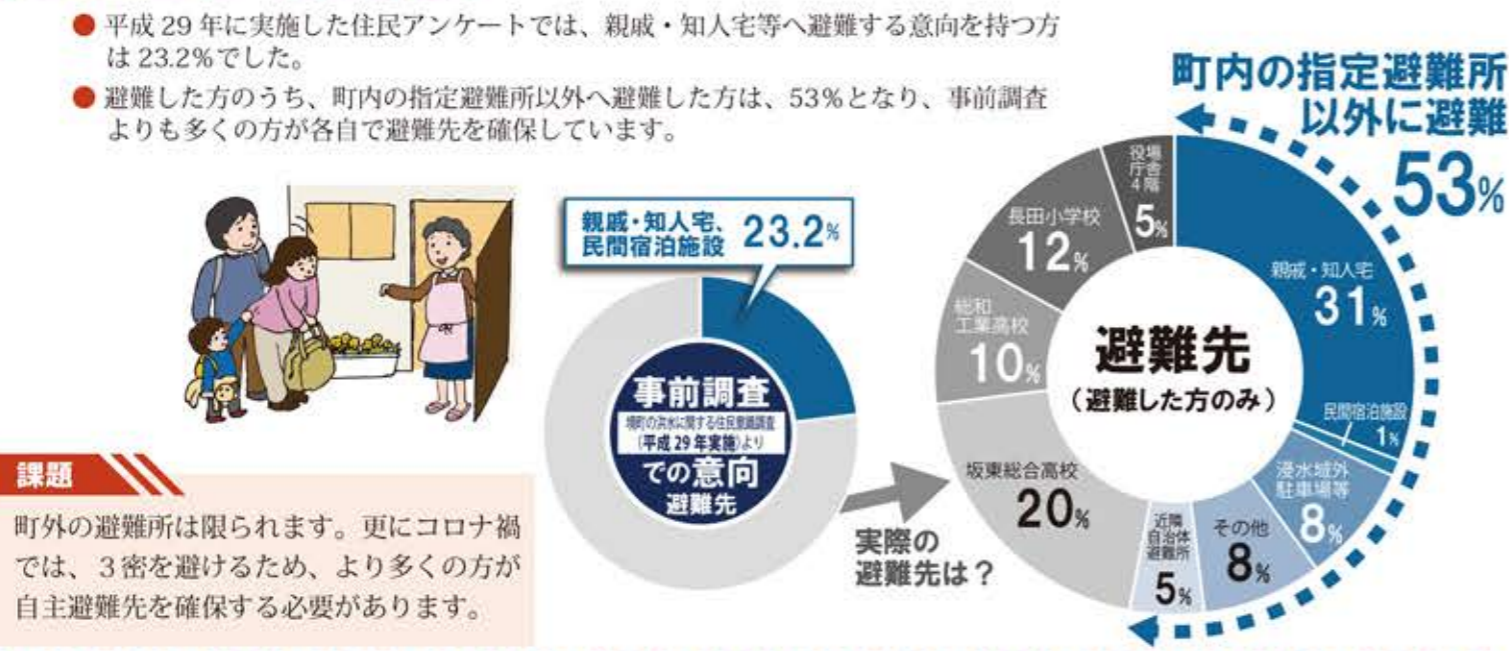
- 境町で初となる「広域避難」の実態と課題 -

**避難率** 境町全体の44%（約7,100人）が避難。  
そのうち、83%（約5,900人）が広域避難しました。



**課題** 境町の人口の約95%の方が利根川氾濫時に浸水する地域に住んでいるため、より多くの方の広域避難が必要です。

**避難先** 避難した方の53%が町内の指定避難所以外に自主避難しました。



**課題** 町外の避難所は限られます。更にコロナ禍では、3密を避けるため、より多くの方が自主避難先を確保する必要があります。

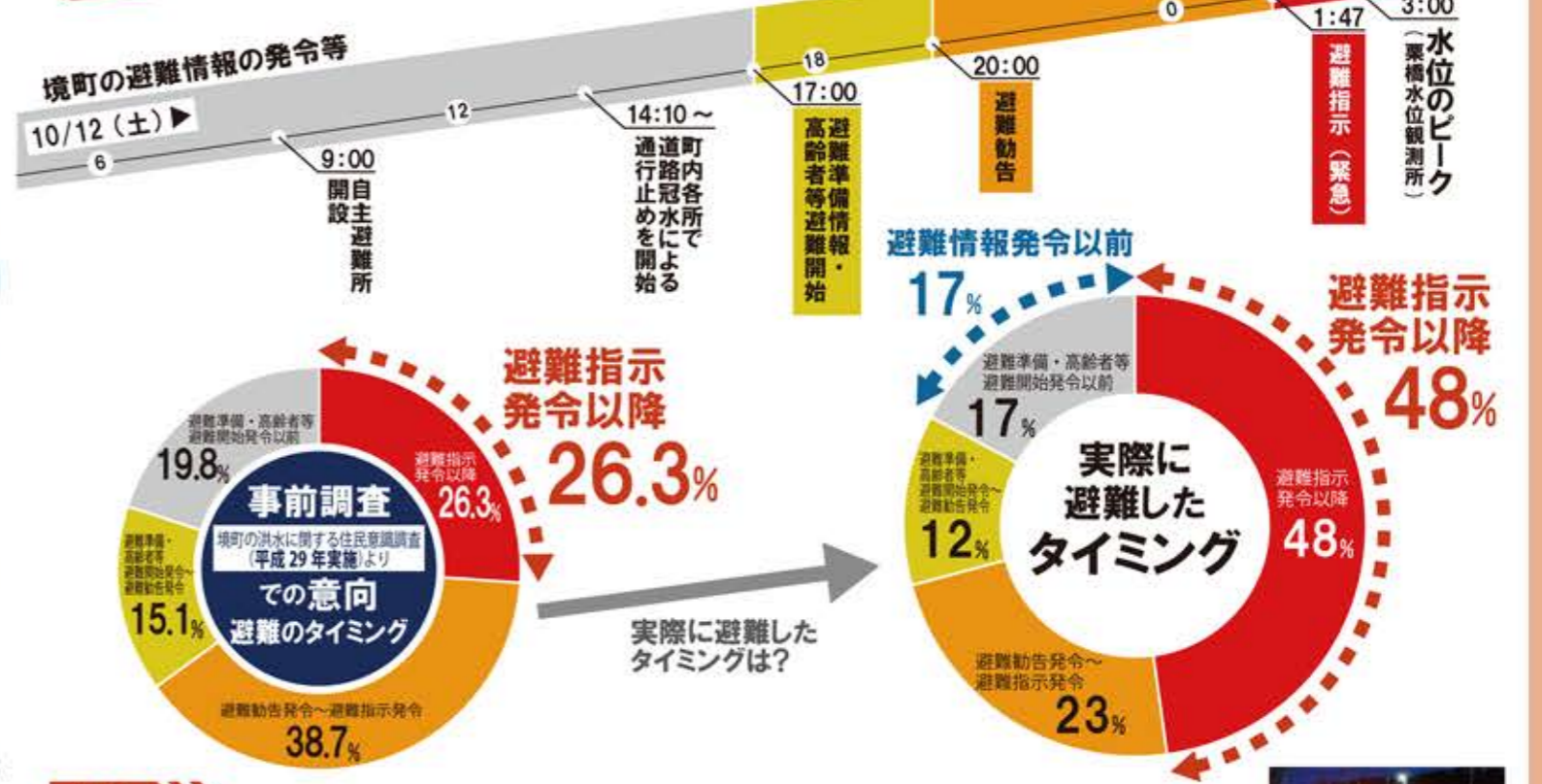
**避難のきっかけ** 避難した方の53%が避難情報をきっかけに避難しました。



**課題** 積極的に避難情報を取得し、避難のきっかけを逃さないようにしましょう。また、避難の際は近所の方に避難を呼びかけましょう。

**避難のタイミング**

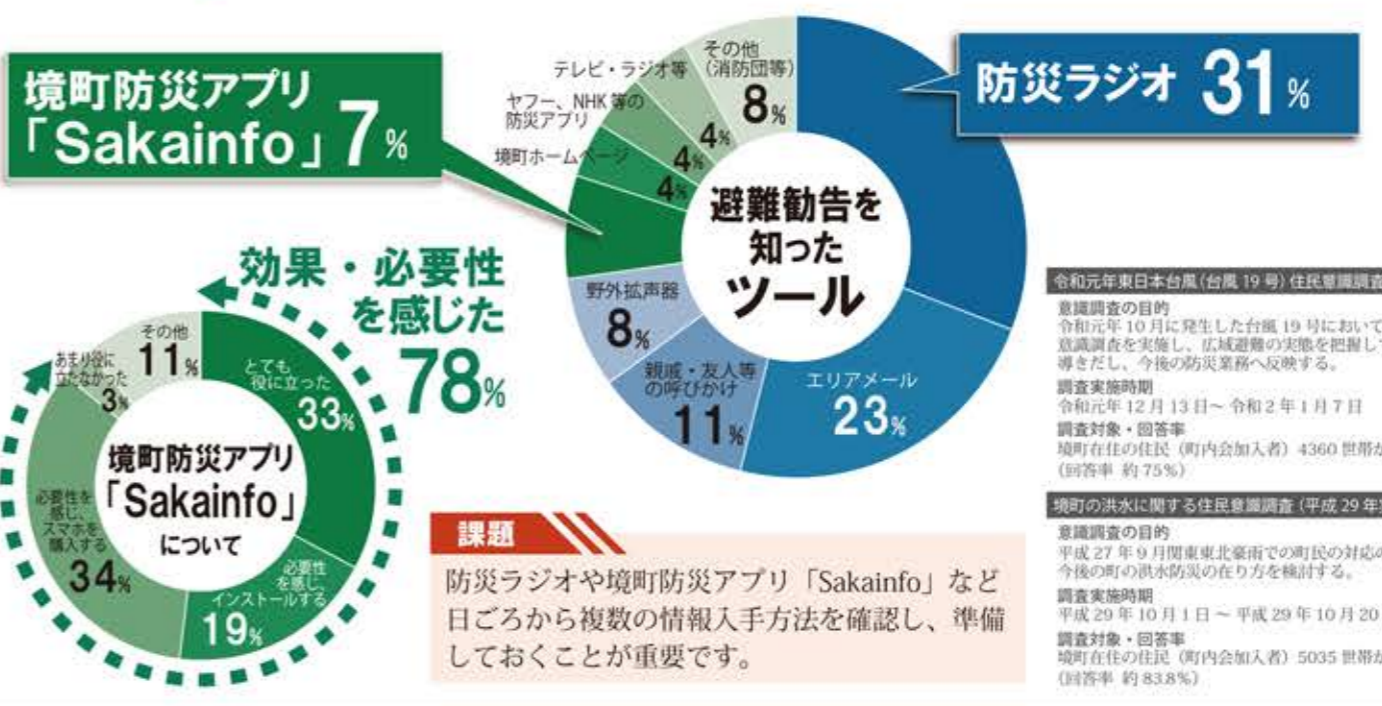
避難した方の48%が避難指示発令以降に避難しました。一方、17%の方は情報を待たず自主的に避難しました。



**課題** 避難情報発令以降に多くの方が避難し、特に避難指示以降に避難が集中したため、渋滞もみられました。町内に雨が降る前や、町からの避難情報発令前でも、不安を感じたり、大雨が予想される場合には、早い段階での自主的な広域避難を心がけましょう。

**情報の取得方法** 町民の31%が防災ラジオで避難勧告を知りました。また、78%が「Sakainfo」の効果・必要性を実感しました。

- 防災ラジオで避難勧告を知った方が多く、多くの方に活用いただいていることがわかりました。
- 町防災アプリ「Sakainfo」で知った方の割合は少ないですが、町民の78%が効果・必要性を感じています。



**課題** 防災ラジオや境町防災アプリ「Sakainfo」など日ごろから複数の情報入手方法を確認し、準備しておくことが重要です。

令和元年東日本台風（台風19号）住民アンケート結果（令和元年実施）

意識調査の目的 令和元年10月に発生した台風19号において、住民に対して意識調査を実施し、広域避難の実態を把握して課題・教訓を導き出し、今後の防災業務へ反映する。

調査実施時期 令和元年12月13日～令和2年1月7日

調査対象・回答率 境町在住の住民（町内会加入者）4360世帯が回答（回答率 約75%）

境町の洪水に関する住民意識調査（平成29年実施）

意識調査の目的 平成27年9月関東東北豪雨での町民の対応の実態を把握し、今後の町の洪水防災の在り方を検討する。

調査実施時期 平成29年10月1日～平成29年10月20日

調査対象・回答率 境町在住の住民（町内会加入者）5035世帯が回答（回答率 約83.8%）

# これからの 広域避難の考え方

## ポイント1 利根川や渡良瀬川が危険なときは ためらわず早めに広域避難

- 町は躊躇なく広域避難の情報を発表します。渋滞や混雑を避けるため、早めに避難を開始しましょう。
- 避難を判断し、実行するのはみなさんです。“自分は大丈夫”とせず、ためらわずに避難しましょう。

## ポイント3 避難先を確保できないときは、町外の浸水区域外にある 広域避難場所へ車で避難

- 各自で避難先を確保できないときは、車で過ごせる公園等の広域避難場所へ避難しましょう。
- 広域避難所は、配慮の必要な方が優先です。裏面の新しい生活様式での避難所生活を確保し、ルールを守りましょう。



エコノミークラス症候群に注意  
(水・携帯トイレ持参)

### 移動手段のない方は…

- 町でバス等を準備します。各行政区長等を通じ、乗車時間・場所を調整しご連絡します。また、防災アプリ等でも配信します。

## ポイント2 親戚・知人宅や宿泊施設・勤め先など 各自で避難先を確保

- 広域避難所で収容できる人数は限られるため、各自で浸水のおそれの低い地域の親戚・友人宅や、勤務先や民間の宿泊施設を避難先として確保しましょう。
- 浸水深が3m未満の地域では、命を守る最後の手段として、垂直避難の検討も可能です。
- 利根川氾濫のおそれがあるときは、基本的に町内の避難所は開設しません\*。当初から目指す目標とするのではなく、まずは安全な場所へ避難しましょう。  
\*状況によっては開設することもあります。

### 親戚・友人宅や 宿泊施設・勤め先



普段から、避難させてもらえるよう、お願いしておきましょう。

浸水が深くなる地域での垂直避難(高層階での避難)は、命は守れたとしても、車は水没し、救助までの間孤立してしまいます…



浸水の中に13万人\*  
救助しきれない

\* 境町、古河市、坂東市、加須市7川辺、板倉町の浸水人口の合計(計画規模の場合)なお、想定最大規模では約16万人



**必ず広域避難が必要な区域**  
 平成27年9月関東・東北豪雨で浸水した範囲(境町のみ)  
 浸水深(想定最大規模) 3m~20m未済

**垂直避難の検討が可能な区域**  
 浸水深(想定最大規模) 0.5m~3m未済

### 広域避難場所

駐車場とトイレの設備があり、車で過ごせる町外の場所  
\*職員は配置しません。譲り合って利用しましょう。

No.	施設名	所在地	トイレ
④	逆井城址公園	坂東市逆井 1262番地	男女別
⑤	前山公園	坂東市逆井 2841	男女別
⑥	農村いこいの広場	坂東市逆井 1047-17	男女別
⑦	浄土宗常繁寺駐車場	坂東市逆井 883(駐車場のみ)	

高齢者など、配慮の必要な方優先  
(感染症対策グッズ持参)

### 広域避難所

移動手段のない方や、配慮の必要な方が滞在する町外の施設

No.	施設名	所在地
①	茨城県立坂東総合高等学校	坂東市逆井 2833-115
②	茨城県立総和工業高等学校	古河市葛生 1004-1
③	茨城県立八千代高等学校(調整中)	八千代町大字平塚 4824-2

## ポイント4 防災アプリ「Sakaiinfo」や 防災ラジオで情報を取得

- 防災アプリ「Sakaiinfo」は、緊急時に役場から必要な情報をお伝えする重要なアプリです。境町にお住まいの方は必ず登録して下さい。



- 防災ラジオは、役場から災害時の情報などを各家庭に放送するための機械です。
- 今後、防災ラジオはデジタル化し、全戸に無償貸与する予定です。  
(コロナ禍のため、更新までしばらくお待ちください。)

## ポイント5 声をかけみんなで避難

- 個人では避難をためらってしまうかもしれません。あなたの声掛けで避難できるひとがいます。

